



21世紀農林業・越後から発信！



米だけじゃない
～新潟県産農林水産物の魅力を発信～

2月19日（月）開催いたしました！

対面およびオンライン（ZOOM）のハイブリッド方式にて開催いたしました「にいがた夢農業・人づくり共通講座公開シンポジウム」は今回で第10回目となりました。新潟大学その他、新潟県農業大学校、新潟県・県内市町村関係者など計71名の参加がありました。

米はもちろん、新潟県が自信をもっておすすめする農産物8品目の紹介、ブランド化への取組のほか、生産者とネットの向こうの消費者を結ぶ取組み、錦鯉の海外事業展開などについてお話頂きました。



【主なプログラム】

- 講演 1** : 新潟県における県産農林水産物のブランド化に向けた取組について
新潟県農林水産部食品・流通課 主任 黒崎 友介 氏
- 講演 2** : 新潟直送計画の販売戦略～新潟県産農産物の魅力～
株式会社クーネルワーク プランニングチームチーフ 鈴木 沙耶 氏
- 講演 3** : 泳ぐ宝石錦鯉（錦鯉産業の現状と課題）
新潟県内水面水産試験場 場長 米山 洋一 氏
- 講演 4** : 錦鯉の世界市場獲得に向けた錦鯉振興会の取組み
一般社団法人 全日本錦鯉振興会 海外販路拡大担当 佐藤 和輝 氏
- パネルディスカッション** 黒崎友介氏、鈴木沙耶氏、米山洋一氏、佐藤和輝氏
コーディネーター 伊藤亮司、長橋徹（新潟大学農学部）

講演① 黒崎 友介氏

新潟県における県産農林水産物の
ブランド化に向けた取組について

新潟県 農林水産部 食品・流通課
主任 黒崎 友介

講演② 鈴木 沙耶氏

新潟直送計画の販売戦略 ～新潟県産農産物の魅力～
人とふるさとを繋ぐ
地産品を通じたコミュニケーションの創出

株式会社クーネルワーク
事業推進課 プランニングチーム チーフ
鈴木 沙耶



Copyright (C) Cünelwork. All Rights Reserved.

講演③ 米山 洋一氏

泳ぐ宝石「錦鯉」

錦鯉産業の現状と課題

講演④ 佐藤 和輝氏

～FC・にいがた夢農業・人づくり共通講座公開シンポジウム～
錦鯉の世界市場獲得に向けた錦鯉振興会の取組み



一般社団法人 全日本錦鯉振興会
海外輸出版路拡大担当 佐藤和輝



FCシンポジウムの醍醐味 パネルディスカッション



学生さんからの質問



たくさんのご参加有難うございました。

【アンケートより感想 一部抜粋】

講演① (黒崎 友介氏)

ブランドにするために消費者の感情を呼び起こす「約束」が大切だということを知った。

自分自身も新潟出身だが新潟の特産品についての知識が少なかったため新潟にはこんなにも良いものがあるんだと勉強になった

講演③ (米山 洋一氏)

知識が乏しかった錦鯉についてたくさんを知ることができた。

錦鯉を商品として利用している状況が、言葉のあちこちから感じられ、錦鯉の品評会に携わる仕事の、大変さややりがいを感じることができた。

パネルディスカッション/全体の感想

1つのテーマについて、異なる立場の人が意見し合うことで、同じテーマでも考え方が全然違うことを知り、聞いていて発見がたくさんあり面白かった。

もう少し時間を長くしても良いと思った。

講演② (鈴木 沙耶氏)

新潟直送計画の内容についてや、それを通してコミュニケーションを創出できることを学べた

地域の誇りをおすそわけ、これからの「ローカル」はまとまらなければ戦えない、DtoCモデル、など印象的なキーワードが中心になっていたので、cunel workさんの思いもよく伝わってきた

講演④ (佐藤 和輝氏)

組織として取り組んでいることについて知ることができたから。

海外でも鯉は販売されていることを知った。

ジャパンプランド確立のために、データバンク化と生産証明書が発行されていると聞いて、なるほどと興味を持った。

どんな企画に参加したいですか？

農業と地域活性について

新潟県の誇る日本酒や地ビールのについて

今回のように、ある分野で共通しつつも、立場が少し異なる人たちから、お話を聞けるシンポジウム。日頃のお仕事のやりがいや大変さなどについて詳しく聞きたい。